



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月13日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ナガオカ
コード番号 6239 URL <https://www.nagaokajapan.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅津 泰久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 楯本 智也 TEL 06(6261)6600
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	1,530	△2.3	221	32.2	273	39.3	183	46.1
2023年6月期第1四半期	1,565	4.3	167	△13.8	196	△7.2	125	△4.6

(注) 包括利益 2024年6月期第1四半期 215百万円 (46.8%) 2023年6月期第1四半期 146百万円 (1.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	26.02	—
2023年6月期第1四半期	17.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	8,479	5,683	67.0
2023年6月期	8,886	5,630	63.4

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 5,683百万円 2023年6月期 5,630百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	23.00	23.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	0.00	—	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,866	21.1	1,412	7.8	1,399	3.5	909	4.8	129.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期1Q	7,078,400株	2023年6月期	7,078,400株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	29,199株	2023年6月期	29,199株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期1Q	7,049,201株	2023年6月期1Q	7,049,201株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い行動制限が解除され、経済活動の正常化が進んだことで景気は緩やかな回復傾向となりました。その一方、ウクライナ情勢の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、円安の影響や物価の上昇などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、2022年6月期から3ヵ年を計画期間とする中期経営計画「FLIGHT PLAN: VISION 2024」で掲げた「既存事業の深化・拡充」「戦略的パートナーとの連携」「新規市場参入」に取り組み、持続可能な成長を目指しております。

水関連事業では、国内の上水道や食品・農業に関連する分野の水処理を幅広く行っております。また、前連結会計年度より連結子会社となった矢澤フェロマイト株式会社は、上水道・排水処理設備の設計、製作、据付工事を事業としており、これにより対応可能な施設設計・受託範囲が広がり、受注機会が拡大しております。海外においては、新型コロナウイルス感染症拡大による渡航規制や行動制限等は解除されたことから、営業活動を再開しており、当社グループがこれまでに提供してきた取水技術や水処理技術を基盤に需要の創出・獲得に向けて取り組んでおります。

エネルギー関連事業では、安定的に収益を確保できる体制の構築が課題と考えており、プラント設備に対するメンテナンスサービスの強化を行い、サービス提供面で顧客と対話を重ね、信頼関係を深化させ、設備更新ニーズを早期に把握することを目指し取り組んでおります。また、受注機会の拡大や新たな受注機会の創出を目指し、製造コスト低減による価格競争力の強化、プロセス・オーナーとの関係構築・深化、これまで認証を取得していない新たなプロセス・オーナーとの関係構築に取り組んでおります。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,530,182千円（前年同期比2.3%減）、営業利益221,185千円（前年同期比32.2%増）、経常利益273,728千円（前年同期比39.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益183,426千円（前年同期比46.1%増）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

① 水関連事業

取水分野では、各地で進められている取水設備の老朽化や耐震化に伴う改修工事等により、取水スクリーンの需要は底堅く、堅調に推移しております。また、水処理分野では、主として連結子会社の矢澤フェロマイト株式会社が請け負っている浄水場改修工事が進捗し、売上に寄与しました。一方で、事業規模拡大に向けた人員増強や営業活動の強化に伴い販売費及び一般管理費が増加しました。

これらの結果、売上高291,895千円（前年同期比1.9%増）、セグメント損失74,618千円（前年同期はセグメント損失50,988千円）となりました。

② エネルギー関連事業

エネルギー関連事業では、中国経済の成長鈍化、ウクライナ情勢の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、物価上昇等の様々な要因により、顧客各社は新規プラント建設投資には慎重な姿勢にあるものの、設備更新を中心とした既存プラントへの設備投資は回復傾向にあります。当社グループでは、新規プラント建設計画に関して継続的に情報収集に努めるとともに、既存プラントの更新需要に対して積極的に営業活動を進め、受注獲得に向けて取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間の経営成績は、製造原価の低減に加え、海上輸送コストがコロナ前並みの水準にまで下落したことに伴い、当初の想定よりコストが低減し、利益を押し上げる要因となりました。

これらの結果、売上高1,238,286千円（前年同期比3.2%減）、セグメント利益427,570千円（前年同期比28.0%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は8,479,275千円となり、前連結会計年度末に比べ407,641千円減少しました。これは主に、電子記録債権が168,904千円、仕掛品が108,014千円、投資その他の資産のその他が92,625千円それぞれ増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が616,732千円、現金及び預金が189,111千円それぞれ減少したことによるものです。

負債合計は2,795,502千円となり、前連結会計年度末に比べ460,835千円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が308,452千円、未払法人税等が158,095千円それぞれ減少したことによるものです。

純資産合計は5,683,773千円となり、前連結会計年度末に比べ53,193千円増加しました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が162,131千円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が183,426千円、為替換算調整勘定が45,311千円それぞれ増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、2023年8月9日の「2023年6月期 決算短信」で公表しました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,112,685	1,923,573
受取手形、売掛金及び契約資産	3,995,173	3,378,441
電子記録債権	312,064	480,968
商品及び製品	9,559	9,486
仕掛品	121,618	229,632
原材料及び貯蔵品	398,970	400,613
その他	258,764	286,466
貸倒引当金	△7,081	△4,913
流動資産合計	7,201,755	6,704,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	704,308	724,502
機械装置及び運搬具（純額）	199,666	217,844
土地	149,095	149,095
リース資産（純額）	40,436	23,063
建設仮勘定	8,122	7,060
その他（純額）	60,024	54,951
有形固定資産合計	1,161,654	1,176,518
無形固定資産		
のれん	19,151	17,954
その他	314,730	313,621
無形固定資産合計	333,881	331,575
投資その他の資産		
繰延税金資産	82,094	66,753
その他	107,531	200,157
投資その他の資産合計	189,625	266,910
固定資産合計	1,685,161	1,775,004
資産合計	8,886,916	8,479,275

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	917,037	608,584
短期借入金	953,643	896,531
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	33,524	9,924
未払法人税等	206,539	48,443
賞与引当金	3,770	54,747
役員賞与引当金	—	23,250
その他	841,686	853,663
流動負債合計	2,966,200	2,505,144
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	160,460	157,979
退職給付に係る負債	80,530	80,172
その他	29,146	32,206
固定負債合計	290,136	290,357
負債合計	3,256,337	2,795,502
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,253,241	1,253,241
資本剰余金	785,195	785,195
利益剰余金	3,121,648	3,142,943
自己株式	△20,106	△20,106
株主資本合計	5,139,979	5,161,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△2,870
繰延ヘッジ損益	△15,253	△25,796
為替換算調整勘定	505,853	551,165
その他の包括利益累計額合計	490,600	522,498
純資産合計	5,630,579	5,683,773
負債純資産合計	8,886,916	8,479,275

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,565,888	1,530,182
売上原価	1,061,995	842,093
売上総利益	503,892	688,088
販売費及び一般管理費	336,574	466,902
営業利益	167,318	221,185
営業外収益		
受取利息	831	1,756
為替差益	27,205	32,808
スクラップ売却益	5,757	19,306
補助金収入	5,674	4,855
その他	511	1,745
営業外収益合計	39,980	60,472
営業外費用		
支払利息	8,325	7,852
支払手数料	2,486	76
その他	36	—
営業外費用合計	10,848	7,928
経常利益	196,449	273,728
特別利益		
固定資産売却益	—	306
特別利益合計	—	306
特別損失		
固定資産売却損	—	65
固定資産除却損	123	438
特別損失合計	123	503
税金等調整前四半期純利益	196,326	273,532
法人税、住民税及び事業税	60,572	68,792
法人税等調整額	10,197	21,313
法人税等合計	70,769	90,105
四半期純利益	125,556	183,426
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,556	183,426

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	125,556	183,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△2,870
繰延ヘッジ損益	△592	△10,542
為替換算調整勘定	21,756	45,311
その他の包括利益合計	21,164	31,898
四半期包括利益	146,721	215,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,721	215,324

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,279,426	286,461	1,565,888	—	1,565,888
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,279,426	286,461	1,565,888	—	1,565,888
セグメント利益又は損失(△)	333,919	△50,988	282,930	△115,612	167,318

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△115,612千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「水関連」セグメントにおいて、矢澤フェロマイト株式会社の株式を取得し、子会社化したことにより、のれんが発生しております。当該事象に伴うのれんの発生額は23,939千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年7月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エネルギー関連	水関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,238,286	291,895	1,530,182	—	1,530,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,238,286	291,895	1,530,182	—	1,530,182
セグメント利益又は損失(△)	427,570	△74,618	352,952	△131,766	221,185

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△131,766千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。